

1991年8.9月合併号 1991年8月5日発行(毎月1回5日発行)

№171

# あんふぁんて

発行人/ 発行所/あんふぁんて出版部  
定価/500円 振替口座/ あんふぁんての会 電話/

仕事大変です  
でも楽しいです  
仕事人間にならないよう  
気をつけます  
子ども可愛いです  
いとおしいです  
彼女に助けられながら  
働いています  
親は子どもからもうものに支えられて  
人間らしく生きていけるような気がします  
そんな気がします

詩:  
イラスト: 塩谷 円満



逐次刊行物

平成3年8.23

国立婦人教育会館

婦人教育情報センター



## 来期案アンケートから

五月中に集まったアンケート80枚の中から、会員全体の傾向を探ると共に、独断と偏見で印象に残った回答を選んでみました。

## A興味、悩みV

- 一：子どものこと（二人目を産むか、病気、幼稚園その他いろいろ）
- 二：自分のこと（自分の生き方、健康、自立など）
- 三：仕事のこと（一の子育てとの両立や、二の自分のこれからの生き方とかさなる部分が大変）

★その他では、夫とのがが昨年より少なくなっています。（関係改善に成功した？それとも諦めた？）ただし、夫婦別姓については増加傾向。次いで、環境問題、親との同居や家を継ぐ問題、住宅問題など。

## Aわが子はこんな子にV

★それぞれの会員がいろいろな言葉で語ってくれていますが、思っていることはみな共通しているようで、だいたい次の三つでした。  
 ◎一人ですべていけるような、たくましさ・生命力のある子ども。◎優しい子、人の痛みをわかる子、想像力・感受性のある子。◎健康な子、明るい子。



## IひとことI

●わが子は、いいやつだなと思える男になった。ウレシイけど、それは彼自身の問題なので、特に期待したくない。「生きものとして一人で生きていけるようにすることが親のつとめ」と思うが、特に心がけてもない。自分のやりたいこととしてるだけ。子どもの中にある自分で育つ力、成長していく芽、本来もつての可能性を信じて基本的に放ったらかし。可愛がりたい気分が可愛がっている。  
 ●世の中、からだの丈夫な人、弱い人、考え方もさまざま。それぞれの状況を確認られ、その上で自分はこうだと意見を持てるようであってほしい。  
 ●強いていえば「想像力」を持つ子に育って欲しい（人への思いやりにも通じるし、自分が親にいていなくても脱する手段になる）。  
 ●美しいものを美しいと感じることのできる感受性を持ち、物質にとらわれない人、自分の頭で考えて行動できる人になってほしい。  
 ●愛と平和を大切に思う人、人と一緒になくとも平気な人（出る釘の意）。  
 ●毎日笑っている子、雑草のように生命力の強い子。現実には、泣いているか、しかっているかだけ。  
 ●子どもは願いのとおり育つのではなく、親のとおりに育つというから、私がどう生きたいかが常に問われていると思う。

## A近況V

★世の中では出生率低下が深刻問題になっていますが、今年のはあんふあんてに限って言えば、妊娠・出産という人がかなりいました。次が、子どもの入園・入学。これで自由時間ができると喜んで、かえって忙しくなると嘆く人も数名。その他、転居、再就職、勉強を始めた、離婚等。

## IひとことI

●G・Wにはじめて子どもを夫に預けて、夜あんふあんての皆で外で会いました。全員のウキウキ、ワクワクした顔がステキでした。正味三時間程でしたが、とても新鮮で良かった。またこういう会を持ちたいねと、盛り上がりました。  
 ●会員になって早七年目。グループ作って挫折したり、自分の未熟さに気付かされたり、けつこういろんなことがありました。「続ける」ということの大変さと重要さをしみじみ感じます。私も元ダンナと去年やつとケリがついて、今暗中模索の毎日です。自分と子どもの生活のペースが全然できていなくて、私の仕事も落ち着かなくて。仲間がいるというのは大きな支えです。いつか、少しでも余裕ができて、みなさんと一緒に会える日を楽しみにしています。  
 ●中間管理職の悩みが出てきたところです。四月に転職しました。主人も同時期異動で単身赴任中。自分の新しい職場に対する緊張と主人のいないことのプレッシャー感じています。

## へ近況ピックアップ

講談師としてデビューを！（神田）  
 大道芸の会へ入って五年たつが、有名になれそうもない。もう一つ「田辺一鶴修羅道場」というアマチュア講談教室へ行き始めた。一鶴さんにプロとしてもやって行けると折り紙をつけた。四十才の入門である。

宝井琴嶺という女流講談師は、四十五才で入門して五十二才で去年真打になったそうです。人間希望をすたらアカン。結婚や子育てで一時中断するのはくやしけれど、人生ながいんや、あせらんでもいい。

## 「TIMEを読む会」その後（片平）

まず、ひとつお詫びを。以前あんふあんてに載った「TIMEを読む会」の話に、三、四人の方からお手紙を頂きましたが、私の不注意でハガキをどこかにしまい忘れ、連絡のつかないままです。お名前がわからなくなりましたので、それっきりになってしまいました。本当にごめんなさい。

その時に早速にハガキを下された会田（山崎）さんとは、お会いしました。会田さんより「ロバの音楽座」という音楽団の話を知り、丁度当時（昨年度）私も幼稚園の役員でしたので、幼稚園での彼らの公演を企画し、実現させることができました。「ロバの音楽座」は大変な好評を博しました。

「TIMEを読む会」は結局成立しませんでした。思わぬ成果があり、人と人のふれあいは本当に大切ななつくと思えました。

## 安心して病院に行きたい（梶本）

最近、乳ガンの疑いで病院通いをしました。（ガンではありませんでした）が、乳ガンについての本を読んだり、病院でのいろいろなことから、「医師が患者を支配する」構造の不愉快さ、不当さ、危険をいやというほど思い知らされました。同じように医療に対して怒っている友人たち（結構いるんですね）と、このことについて話し合ってみよう。

## 毎日の暮らしの中で（竹淵）

働いて子どものいる友人も、やはりとても大変そう。でも、専業主婦の自分のこの閉塞感もつらい。まわりをみると、どうしてみんな平気で（？）毎日同じことのくり返しをできるのだろう。月に一、二回ともたまになくなつて叫んでみたくなる。子どもはかわいしいし、土・日は夫も子育てに協力的だし、自主保育仲間もいるし、勉強会の友人もいて腹をわけていろいろ話せる。でもやっぱり、何ともいえないうつ感を感じる。

毎日同じことのくり返し。家事も育児も手をぬくと家庭がメチャクチャになるし、しつかりやつてあたりまえの世界。報酬もない。どうあがいても満たされない。（結婚退職させられた状況を今もひきずっているのか……）きつと仕事をしたいのだから。でも、これだけ手がかる子ども……、たとえ保育園にあずけて働き出しても、仕事から帰ってきてとても疲れてヒステリックになるのを目にみえている。一度在宅勤務でイラストのバイトをしたことがある。子どもが寝てからしか仕

事ができないので、スイミン時間をけずるし、かなく、充実していたがとて大変なものだった。どつちの道をとつても私はきつと一生イライラしつづけるのだろうか。どうしたらこの自分の状況を少しづつでも変えていけるのか、とつても今悩みます。

## 地球環境をこれ以上悪くしないためには……（長代）

子どもが三人になって、彼らから何かを学んでいるのだからけれど、どうもエネルギーを一方的に吸収され続けている感じがする。もしかしたら、人の数を増やしたことは、またひとつ地球を枯らすことでは？という不安もある。種の保存のためだけに私はいるのかしら？

地球の環境、これ以上悪くしないために一番良いのは人の数を減らすことだと思います。めつちやくちやく壊して、いなくなつたつて、また第二の人類的存在は出てくるだろうしね。人が人として自然な暮らしをいつかは、石器時代みたいな頃で終わつたかと思う。なにもなくなつて、自然は恐怖で、病気でボロボロ死んで……、でも、何故かその頃へ帰りたい、帰りたい！





●早期教育・受験戦争Ⅴ

ほとんどの人が原則的には反対でした。  
 ◎おかし。反対。かわいそう。——45名  
 ◎いやだが気になる。やる人の気持ちもわかる。そのうち巻き込まれるかも。——14名  
 ◎私立校など良い点もあるが、受験戦争は異常。やりたい人はやればいい。子どもが望めばやらせるかも。——13名

★早期教育や塾通いに反対だが、今の学校の状態を考えると子どもが落ちこぼれることになることも覚悟しなければというような声も。

——ひとこと——

●早期教育反対。マスコミに流され過ぎ。勉強のできる出来ないは一つの才能。受験のテクニックばかりみがいでも本当の意味での賢い子にはならないと思う。さめた子が増える様で将来が恐ろしい。

●自分が子どもの頃にも子どもに早期教育していた近所の人や私立受験のためにすごい塾通いしている友人がいたが、大人になるとフツーの人でした。だから自分はあまりわが子にさせるつもりはない。

●やるべき時期にやるべき事をしっかりやっていないと、後でガタがくるのでは？幼児期は土・泥・水としっかりたわむれ、豊かな心言葉をたくわえるべきです。

●もつと生きてくることの楽しさを教えられたらいいと思う。

●せめて幼児期には親の手で何事もとり組みたい。遊びの中でも学習できるはず。親子で一緒にどんどん遊ばなくては。

●私も息子を十ヶ月の時に公文の0才児コースに入れましたが、すぐにやめてしまいました。育児をしていく中、知識を詰め込むだけの教育は無意味だと思いました。

●子どもは果てしない可能性を持っているので、それを引き出し伸ばすキッカケを与えてやることは良いと思うが、それをどこかに入れて人まかせにしたり、ただお金をかければよいものではない。親が工夫して与えられるものも多いはず。

●子どもがかわいそう。早く覚えるだけで、どうということはない。遊びの方が大切だと思ふ。最近新聞で読んだが、小さいうちから勉強すると脳に血が行き、体が育たないとか。本当に子どものためになっているのか。もう少ししたら後遺症が出てくるのでは？

●ばかりかみたいと行ったらみもふたもないが、ようするに親の自己満足。

●やりたい人はやればいい。でも、いい学校に入っているところへ就職して沢山お金もらって、突然死したら何だろうね。

●親が教育に自信がないせい。

●子どもは子どもらしくおもいきりのびのび遊ばせたいとは思いますが、そういつていると小一の最初からスデにおちこぼれてしまうらしい世の中が恐ろしいです。

●ある程度は仕方ないこと。問題の根は深いので、ただのびのび育てるのが一番という反論には安易に同意できません。

●なんか狂っているとは思いますが、その中でどう動いたらその流れを変えられるのか。

●客観的にはナンセンスだが、巻き込まれてしまう人の気持ちもわからない訳ではない。

●私立校に入りたい気はする。特に神奈川は中二でアチーブメントテストがあり、公立中学に多少不安と不信感があるのだ。

●近所の三年保育に行くともだちは、五十音が全部読めます。また、毎日ドリルを五ペーシとか、テレビで見ていた世界がすぐそばにありびっくりしています。私は幼児期は体と心を作る時期だと思うので、娘には一切させていないし、させる気もありません。が、やっぱり内心あせります。でも、興味を持つまで待つて、本人がやりたいならさせても思います。(等に東京は異常です)

●うちはビンボーなので考えられない。でも、もし出来るのであれば本当はいろいろ習わせたい。身分相応の人がやればいい。

●好きな人はどんどんやってくれ。でも、周りまで巻き込まないで。だって、ふみとどまる勇気とエネルギーがすごく必要になりますから。

●都立校のレベルダウン(入試制度の改悪による)がすべての引金になっていると思う。都立校がもう少しキチンとなると、私立志向は減ると思う。

★ちなみに、あんふぁんての子どもの場合は、通わせていない  
 スイミング・体操など  
 児童館・育児サークル・自主保育  
 ビアノ・ヴァイオリンなど  
 10名 11名 18名 26名



へあんふあんでのみんなは  
毎日どんな生活をしているの？

## 『グループ活動・稽古事』

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ◎何もしていない                       | 24名 |
| ◎学習会・公民館講座（託児付きを含む）            | 18名 |
| ◎ジャズ体操・テニスなどスポーツ               | 12名 |
| ◎育児サークル・自主保育など、子どもと一緒に活動するグループ | 10名 |
| ◎能・バイオリン・ピアノなど                 | 7名  |
| ◎回覧ノートなど、直接集まらないグループ活動         | 5名  |

「どんな条件なら出かけられる？」

◎小さい子のいる人ほとんど全員「子連れか保育付き」が第一条件。次いで晴れの日。時間は日中片道一時間以内。子どもを預ける相手は夫が一位、次いで母親でした。

## 『自主保育や預け合いをやりたい？』

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ◎ やりたい             | 25 名 |
| ◎ 保育園等についているので必要ない | 15 名 |
| ◎ 親子一緒に友達とあそべればいい  | 8 名  |
| ◎ 大変そうだからやりたくない    | 7 名  |

「地域での催しは？」

- |                   |      |
|-------------------|------|
| ◎ 近くでやるなら参加したい    | 42 名 |
| ◎ 地域に集まる場があればやりたい | 23 名 |
| ◎ 近くに会員いない、自信なし   | 6 名  |
| ◎ 企画・実行してみた       | 5 名  |

— 22 —

● 会報を読んだりノート回覧を始めた以外、活動できていない。グループ参加に挫折したのが悲しかった。グループは地域の距離よりも、むしろ興味で集まった方が良い。興味や関心のあるもののアンケートを作って、会員同志がコンタクトをとれると良いのに。

● 子連れの共通点で楽しく仲よくは、地域で作りに上げるのがベストと思う。仲よくすることに気を使わずに本音がいいあえる場が、あんふあんで；かな？ また、命を預け合いするのは覚悟のいることと思う。まず、父親を頼るべきで、そのための努力を先にしてほしい。

● 県内の会員は非常に少ない。グループ活動等で自分の意見のいえる場があると良いが、積極的にグループ作りできない自分もどかしいし、かといって、フルタイムの勤務についていると地域の中にもなかなか深くつきあえる場も少ないと思う。

『仕事をしている?』

- |      |     |
|------|-----|
| ◎はいえ | 49名 |
| ◎はい  | 31名 |
- ★建設省職員、司書、教師、塾講師、法律事務、校正、添削、ピアノ教師、ヨガインストラクター、自営業、ライター、編集者等いろいろ。植木屋さんでバイトという肉体派も。

## 『相談相手は誰？』

- ★ 大部分の人に相談相手がいるようです。
- |                                       |      |
|---------------------------------------|------|
| ◎ 友人を一番最初にあげた人                        | 46 名 |
| ◎ 夫（彼）を一番最初にあげた人                      | 22 名 |
| ◎ 親を一番最初にあげた人                         | 3 名  |
| ◎ だれもない人、文通相手とか電話でとか<br>直接合えない相手をあげた人 | 6 名  |

— 251 —

- いない、ほしい。昔の友人はみな子育てで離れてしまった。
- 欲しい。あんふぁんてへ投稿する。義母に相談をもちかける。近所の友人へそれとなく聞いてみる。
- 子育て、家庭内の悩みについてはサークルや近所の友人と話す。社会的な出来事については話し合える人はいないので、ぜひ探していきたい。
- 話し合う相手はいません。私の大きな一言を、夫が聞きもしないでその場にいるだけ

へ地域の児童館・公民館は、子連れで利用しやすいですか、昼食など食べられますか？

★豊島区の篠原さんの投稿がきっかけでこの設問を設けましたが、ほとんどの児童館や地域センター等で「幼児連れでは利用しにくい昼食ダメ」という結果でした。

— 251 —

●自分達の税金で建てたのに、お願ひして貸してもらっている感じ。使わせてもらえなくなる困るので、なるべく感じ良いようにしている。

（神奈川県海老名市）

●公民館の保育室は有料。地域センターは保護者同伴の方が使いやすい。卓球場などもあるが、以前喫煙などの事実があり高小生の利用を制限している点が気になる。地域に高校生達のたまり場の場所がない上、職員も「困ったやつら」みたいな対応なので、問題があると思つてゐる。（東京都小平市）

●比較の利用しやすい。午後になると小学生が来るので、事故がない様目配りが必要。昼食は食べられるが、一時まで部屋からでられない。

（千葉県船橋市）

●児童館はあるがあまり人が来ないので、行つてもおもしろくない。お昼はしめだされる雨の日近所の人と一緒に二時間くらい遊びに行くこともある。区ではセシオン杉並なる立派な公民館を作つたのに、親子に開放したスペースを作つてくれなかつた。その公開講座に出席しなかつたが、子どもは預かれないと言われてあきらめた。

（東京都杉並区）

●公民館・文化センターには子連れOK。利用で、昼食持込み可。（岐阜県恵那郡）

●学研のホットペンサークルもリトミックも市民センターでやっている。子連れグループでも利用しているようです。乳幼児学級ではおやつを作って食べたり、ホッペンでもイモ煮会でおにぎり食べたり、時間内だったらいいようです。でもやはり、正午から一時までは休み時間。

●昼食が食べられるのは、五反野のコミュニティセンター（児童館）と区のスポートセンターだけ。（東京都足立区）

●玉川台・桜ヶ丘・深沢児童館は以前からお弁当可。上用賀児童館も女性館長になり四月からお弁当可になった。（東京都世田谷区）

●総合福祉センターはロビーで昼食可。一階トイレにベビーベッド有り。行徳公民館は児童ルームの設備はよいが、ロビーが狭く昼食は無理なので、マクトナルドへ行くことにしている。（千葉県市川市）

●児童館なし。公民館に保育室はあるが保育者が必要。婦人教育会館は主催講座の託児のみ無料。県婦人会館は託児室や母子室もあるが、部屋の使用料が高い。（広島県広島市）

●児童館は職員が規則を守る（時間がくるとすぐかたづけを始める等）ので、行きたくなくなった。飲食不可。（愛媛県新居浜市）

●市民センターが利用でき昼食も食べられるが、利用する人が多いのでいつもというわけにはいかない。（埼玉県鴻巣市）



## △あんふぁんてについてどう思う？▽

★これは人それぞれですが、いろいろな人の意見を聞く場、情報を得る場、社会的なことへ目を向けるきっかけ、女の悩みや関心をわかちあえる場、交流の場、自分と価値観が似ている人と出会う場、自分の生き方を確認する場、本音で話せる場、刺激剤、自分をみつける場などが主なところ。

中には、「トイレのようなもの：出すためになくはならないもの！」という意見も。あんふぁんては必需品？

## △あんふぁんてはどんな会？

どんな会にしたい？▽

★元気な女性たちの会、非常にゆるやかな会、自らが動く人の会、様々な考えを持つ女たち（男も）の集まり、転動先で友人をみつけるきっかけ、やりたいことをやりたい人がやる場所、常識にとらわれず安心して自分を出せる場所、個人のペースでいろいろな関わり方ができるところ、主に子ども又は女にかかわることについて交流する会など。

## ⅠひとことⅠ

●今の子どもたちの状況をもっと人間らしい育ち方をするように変えていきたいから、今のままいろいろな情報にまどわされなくて問題意識を持ち続ける会にしていきたい。

●もともと会員同志のネットワークを広げて、孤独な育児を楽しめるものに変えられたら。

## △会報について▽

### 「どのように読む？」

★全部読む18名 興味のある所だけ122名

### 「あなたにとって会報は？」

★刺激、いろいろな考え方を知る・情報を得る場、元気の元などが主。直接会えない会員にとっては唯一のつながり・命綱という声も。

### 「印象に残った記事は？」

★特集テーマとしては、「夫婦別姓」、「男と女」、「戦争」がベスト3。次いで、学校関連の特集や投稿、「子どもの人数」、「子連れで行った楽しい所」など。また、表紙の詩や「あんふぁんてからあんふぁんてへ」のコーナーの固定ファンもいるようです。

## ⅠひとことⅠ

●毎日、新聞を読む時間もないです。だからこそ、毎月の会報を楽しみにしています。今度こそ何か書いて投稿したいと思っています。

●このアンケートをきっかけに会報を、バラバラめくって見たら、もう一度じっくり読みたいという特集がたくさんあった。その時興味の対象でなかったものでも、数カ月たつとまた違った観点で見ることができておもしろい。

●最近会報がつまらなくなりました。自分が投稿しないのに生々しいのですが、内容が現在の

●すぐくしゃみしたりしたグループだと思いが地方在住者にはあまり縁がなさそう。

●もともとつれあいや保父・男性教師なども巻き込みたい。

●子どもを持つことによって開かれた世界と閉ざされた世界に対して「？」や「！」を投げかけ、呼びかける。数少ない場と機会を主体的に広げるための会。そんな会にしたい。

●子どもとともに学び遊び、そして親自身の自立を考える場所。「あんふぁんて」に求め期待するものではなく、いつまでも自分らしく生きる為の主体となつてかわつていくような会であつたらいいと思います。

●できれば困ったとき（病気など）ベビシッターになつたり、なつてももらつたり、そんな場も欲しい。

●いろんなことをしている人がいて、いろんな考えの人がいて、ひと口に説明出来ない集まり。でもそれがスゴク良い点だと思う。

●改めて趣意書を見て「子どもがいてよかった」と思っているが、子どもによりかからない自分の人生をのびやかに生きるための仲間

の会であることを再確認しました。あーそうだったんだと。この時期に仲間がいるかいなかは大変なことですよ。

●今の社会状況も憂うべきことばかり。こうした会が充実し発展していく条件はどんなに厳しくなっていると思います（このころした会も同じでしょう）。人や家庭はますます孤立化へ向かっていることを、自分の地域活動を通していやというほど感じています。でも、それだからこそ、せめて自分のまわりだけでも、（消極的だけど、最低限）

自分の興味の範囲外だからだと思えます。子どもが入学したら、きつと学習指導要領や学校について感心が出てくると思います。

●会報を読むのを楽しみにしています。いろいろな人の生き方に励まされて、読むだけです。が、これからは会の一員でいたいと思います。

●時折、自分の主張（ぐち）ばかりを強調しているのではないかと感じます。それらも大切かと思いますが、そこから前進することも見つけ出していかなければと思います。私自身「あんふぁんて」をまだあまり理解できていないと思いますが、自分自身をみがく場になるとよいと思っています。

「興味あるテーマは？」

一：自分の生き方について 54名

二：幼稚園・保育園 37名

三：原産・環境問題 37名

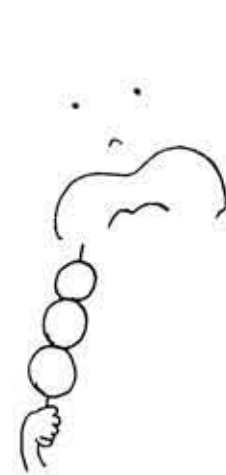
四：身体や食べ物 37名

五：子連れでの外出 32名

★仕事のこと、学校関連、夫（男）のこと、お産・育児、公共施設の問題と続きました。

「とりあげたいテーマは？」

★前の「興味あるテーマ」とほぼ重なります。自分の生き方（再就職、賃金の安さ、夫や家族との関係など）と、子どものこと（子どもとの関係、学校、幼稚園、早期教育、アレルギーなど）、ゴミ・リサイクル・原発などの環境問題、おまかにはこの三つに分けられるようです。



私にとってのあんふぁんて（へ）

同じ黒磯市の、さんが大活躍で、わたしにとつての「あんふぁんて」をもう一度考えさせられています。本当に読むだけの会員だから。でも私の場合、それで充分力を与えてもらったという感じ。要するに「何かをしなくちゃ」というこの「うずき」の大元には「あんふぁんて」があつたのですから。

今年には生協にもちよつと首をつっこんでみることにしました。アトピーのことをもつとこの地域でもきちんと認識してほしい。その足場にしていうのがねらいだけれど、ま、その他一般も勉強したい。

まずは自分、そしてわが子と自分との関係（夫はどこに？）その延長線上にすべての活動があります。そしてこのところ、とにかく「この状況」を変えたい何かをしたいという気持ちで自分の中はつきりとしてきたのを感じます。「この状況」とは、子どもをめぐる社会の悪さ、暮らしにくさ、この地域の文化的条件の貧困さ、人間関係、政治等々これらのこと：形として何か動きをつくってゆきたいと思う。「あんふぁんて」の表に出てゆくことはいくらでも、底力としてやっぱあんふぁんてとかかわってゆくことであらうと思います。

## ⅠひとことⅠ

●みんなで節電や冷暖房の温度を調節するだけで、どれほど電力消費量がちがうか。

●男女連がほしいと思う人いませんか？仕事をもちていないと夫以外の世間話をする男の人がいなくてさみしい。結婚前の友人と手紙のやりとりを続けていればよかったと悔やんでいます。

●どんなグループ作りが進んでいるのか、それが他団体などどのようなかわりを持っているのか。

●着られなくなった子ども服、マタニティー、子ども用品どうしてますか？

●子連れが住みにくい社会について。どうしてそうなのか、どうしたらよいのか。

●女性のネットワークを地域に広げるには。

●「うちの子に限って」となつておじけづかない準備は？思春期の子ども特集。ぐれた経験者はいないかしら？

●インフォームド・コンセント、母性神話、性別役割分業をどう克服するか、子どもができてから再就職した人、子どもが二・三人いて仕事を続けている人の話。

●働く女性と専業主婦。どちらの立場もイライラしませんか？

●「あいら」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

●「まんぷく」

## 交流会を前に

「あんふぁんてを動かす人は…」

★入会前、『あんふぁんて』は全国に会員がいて、十六年も続いている。『なんて』聞いて、何人ものスタッフが各地で仲間作りを指導してくれ、グループやイベントに誘ってくれると思っただけの人もあるかもしれない。でも、みんなが団地の幼児を集めて遊ぶ会を作ったり、主婦仲間と手芸の会を始めたりする時を考えよう。どんな活動をするか、メンバー間の連絡方法は、新メンバー受け入れは、自分達自身で考え動くはず。あんふぁんても会員一人一人のそういう動きのみで成り立っているのです。その気になればそれぞれに動けるかわり、動かないと何一つ始まらない！ところが、各地で行われていたグループ活動は、メンバーの世代交代や保育所や三年保育の幼稚園に入る子どもの増加などもあってしだいに形を変え、今や預け合いをしているグループはほんの何ヶ所しかありません。活動の形も、毎週皆で会って一緒にというものから、不定期に集まる形や通信・回覧ノート中心のものに移ってきました。

★他の会員と個人的なつながりを持てる状況にある人は、なくても続けると答えています。が、各地での催し物を企画・実行できるメンバーがいらないことから「あんふぁんて」は「会報でのつながり」になってきている証拠。今までのように、会報の担当役割は大きくなっているようです。

しかし、会報編集をやってもいいという人は少なく、直接何人かで会って編集作業できる状況にいる人は、ほんの数人でした。今だに編集担当を探して四苦八苦しているのに、見通しは真つ暗です。

★直接会えない、預け合いやグループ活動をしていない会員が多いということ。あんふぁんての保険は、当事者だけでなく子どもの大きくなった人などもみんなで、子連れの活動を支えていこうという主旨ではじめたものだから、「今の自分には必要ないが、保険の制度は残しておいて」という意見は多いのです。あんふぁんては会員以外を含む地域のグループでは、それぞれ別の保険に加入しているケースも増えています。

★自分の自主保育の仲間でケガのことが話題になり、改めて保険の説明書を読み直して、「あんふぁんて」の会員同志でしか保険がおりないことに気づき、あわてて市販(?)の傷害保険(賠償付)に入ることにしました。

●保険が必要な会員と会報だけの会員との二通りに分けるのは無理でしょうか？

(保険設立の主旨から言って、分けることは考えていません。現在一人あたりの負担額は年200円程度です——事務局)

## 『毎月の活動はメンバー不足』

★会として毎月やっているのは、定例会、切手貼り、発送の三つのみ。どれも参加者は次の号の編集をする人など三〜四人。おしゃべりの中から新しい企画が出てきても、実現に向けてスタートという風にはなりません。新しい会員との出会いも期待薄です。

## 『興味ある催しの企画や会全体の運営は?』

「スタッフになる気持ちがありますか?」という問いに対して『ある』『そのうちやりたい』という回答は計43名。「現在妊娠中」などすぐ動けないケースを抜きにしても、30人くらいはその気があるということ。ただし、直接会って相談できるくらいの距離の人がいるのは、千葉・埼玉・東京の三ヶ所くらい。あとは地域的にばらばらでした。「出かける範囲は一時間以内で行ける所」が圧倒的に今、遠方の人たちの場合は、共通のテーマを見つけて時間をかけて会報作りするなど、直接会わなくても出来る方法を考えなければ。

現在、子どもや母親をターゲットにした催しは目白押しです。また、自分達の活動をビジネスに結び付けようという人たちがいます。やり方はいろいろあつていいのです。でも、その時は楽しくても、「参加して、それで終わり」という催しは寂しくありませんか? 有名で人寄せして参加者の数を競うより、自分達でじっくり相談して準備して、一緒に作り上げて行く中でお互いが親しくなれるような、催しが終わっても後につながらるような、そんな手作りの会ができないでしょうか?

地域での仲間作り、興味あるテーマでの催し、会報の編集、どんな形でもいいから実行してください。そこで出た問題点や楽しかったこと、ぜひみんなに伝えてください。ミィティング等の場に持ち込んでください。一人からみんなへ。そして、それによってあんふぁんて全体が動いていきます。

## \*\*\* アンケートをながめて \*\*\*

●今回のアンケート回答者八十名。五月現在の会員数が五〇〇名なので、回答率は十六%。昨年は二割を越えていたから、ちょっと残念。回答者の平均年齢は三十二才で、小さい子どもが一人はいる。これは会員全体の平均像とほぼ一致しているのでは?

入会三年未満の人の回答が一番多かったですが、十六〜六年という人も十四名でした。●嬉しいのは、新しい会員も古くからの会員も、あんふぁんてに対する基本的な考え方にほとんど差がなかったこと。年齢が違っても、これならいろいろな面でつながっていいのでは?

ただし実際の行動となると、他力本願の人が増えているようで、自分で勝手にゼロからはじめてしまえ!という迫力は薄れていきます。また、初めての相手や、自分と違うところのある人とうまくやってコミュニケーションをとったらいいかかわらないのでは? と考える人もかなりいます。自分の殻をやぶることから始めなければならぬかもしれませんね。

(事務局・川崎)



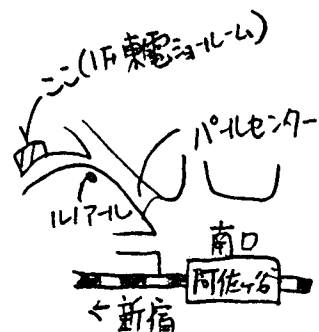
## 来期案決定会員交流会

「あんふぁんて」のこと、一緒に考えよう!!

日時: 8月24日(土) 10時半から2時

場所: 杉並区阿佐ヶ谷地域センター 第5和室(決定)

(JR阿佐ヶ谷駅南口下車・徒歩5分)



◎この交流会の話し合いでこれからの「あんふぁんて」のおおまかな方向が決まります。少し遠い人も、是非参加してください。場所や人数の都合で保育室を別に用意できないので、子どもを連れて話し合います。可能ならば、子どもをおいてきてください。

◎交流会に直接参加できない人の声として、先日のアンケート回答を参考にします。事前にこの八・九月合併号を読み、当日持参して。◎参加申込はハガキか電話で8月23日(金)までに事務局へ。



いじめの件があつて以降、四月になつて担任の先生が一人変わり、新しいお友達も入園してきてクラスの雰囲気も変わつてきたのか、いじめられることがなくなつたようです。そして、千秋をいじめた子が最近長期欠席しているのです。家庭の事情によるのか、病気のかわかりませんが、私は家族の方にも問題があると感じています。千秋と同じロッカーの中に汚れ物が一ヶ月くらい積んであるのです。いずれは家族の方と話しみたいと思ひますが、今のところ千秋をいじめた子はその子一人のようなので、何とか乗り越えられと思つています。

## 保育園でのいじめ—その後

あんふぁんてから  
あんふぁんてへ



とりあえず千秋は毎日元気に登園しています。担任の先生もとても積極的になつたと話していましたが、前の担任とはずいぶん話しましたが、相手の言うことを冷静に聴く耳を持たないで感情的になつてしまひ、一才の下の子の先生の声と表情を見て大泣きしたくらいです。かみ合った話ができないので、いじめの件については特に話していませんでした。いじめは今や社会的な問題であり、自分の子どもだけの問題ではないと思ひます。大人たちに子ども(人)を受け入れる余裕がなくなつてきているのだと思ひます。私は精神科で働いている関係で、心優しいデリケートな人々が今の社会についてゆけなくて精神科に入院してきている現状を毎日見えています。彼(女)らの話を聴く度に、社会が悪いんだ、もつと外に向かつて行動を起こせばいいのにと思ひますが、一度、病気がかかると外に出ること自体苦痛のようです。彼(女)らは何よりも人間的なつながり、人の優しさを求めており、自分の家族・仕事・学校の事・社会の事などを真剣に考えています。彼らの病状が社会的な批判をしているように私には思ひます。

毎日学ぶことは多いですが、現状をどうしたら打開できるか考えると頭が痛くなります。彼らとともに社会を見つめ、一緒に生きていきたいと思ひますが、何よりも先立つものは生活です。自分も彼(女)らもともに自立できる仕事をいつも考えています。共同作業所、リサイクルショップ、自然食レストラン、今のところは私の夢です。何か良い案がありましたら、教えて下さい。

## 転勤—私の場合

大坂

結婚して四年。その間、札幌—金沢—東京と二回の転勤を経験した。これからは二、三年に一度の割合で転勤することになりそうだが、辞令が出てから約一週間で親しかった人への挨拶もそこそこ引越さねばならない。子どもが学校へ行つていく場合も、その間に転校の手続きなどすべて終えなければならぬので大変である。社宅の子ども達をみると、小学校を三、四回変わったという子も珍しくない。子どもの小さいうちには会社のお金で全国を旅行し歩くというの悪くはないが、学齢期に達した時のことを考えると気が重くなる。私自身転校というものを経験したことがないだけに、子どもにとってもかわいそうなのを課しているような気がするのだ。夫の単身赴任を考えねばならない時もあるだろう。

転勤になつても次のポストが用意されている夫はよい。自分のポストを自らの力で築いていかねばならない家族の苦労は並大抵のものではない。私は現在月三回送られて来る添削の仕事をしていて、七月のはじめに第二子出産の予定だが、その子が少し手がからなくなつたら外に出て仕事をしたいと思つている。だが、二、三年に一度転勤するとなつたら、自分の満足のいく仕事が見つかることができるのだろうか不安である。

「転勤」この二文字は私の生活にずっしりと重くのしかかつてくる。

## グループ近況

★のところは、手元のグループリストを訂正して下さい。

## ひなた童子

●グループはじまつて以来の出産ラッシュで、六月現在出産済み(二名、妊婦二名。去年の暮れから四月くらいまでは、ヘルパー不足で動ける人でフル活動。お父さんまで駆り出される大変さでした。ここ何カ月かは赤ん坊を連れてヘルパー復活したので、何とか順調に動いている次第です。子どもたちはというと、相変わらず公園や児童館で自然児ぶりを発揮しております。

活動内容も予定は未定で、その日に行く場所を決め、子どももまかせ風まかせです。最近動物園へ行き、個人で連れて行けない者にとってはヘルパーに大感謝。

## ひよこの会

●家庭学級を母体とし、どこか頼りなげでつかみどころのなかつたひよこの会も、四月よ

り新役員を改選し、規約なども作成し、ようやく形を整え始めました。三十人を越える大所帯なので、多少まとまりを欠いている感があります。

四月はハンガー・プロジェクト(アフリカから飢餓をなくしようという活動)の方が東京からいらして、みんなでアフリカの飢餓問題の話を聞いたり(でも、これはうけなかつたナア。ひよこの会は重いテーマは敬遠されがちです)、リトミックをやったり、五月はこのほりを作ったり、映画を見たり、といったところです。

べつにこれといったポリシーもなく、次々と思ひ付くテーマをこなしてるといった風ですが。

## B・Bパーティー

★試行錯誤ながらも、六月より半分交替の自主保育を早良市民センターの和室を借りて行なつています。また、人数が増えたため(特に第二子出産等で遠出がでにくい人等)、新生児を持つグループ、家が近い二才児を持つグループといったように、いくつかのグループ分けをし、毎月の企画、連絡、B・B日より発行といった仕事を各グループのメンバーにまわすべく始動中。

●グループリストで見られたとかで、東京から転勤された方より連絡をいただきました。心強い仲間が増えました。

★「感動倶楽部」をご存じですか！

富沢 さんと知り合つて入会。子どもも親も共に向上していけるような日々の生活スタイルを学びたいと思ひます(どちらかが犠牲になるのはイヤ!)。今はいろいろな班に分かれての活動も積極的に参加。特に育児上とても役立つ勉強班(地域汚染、予防接種、早期教育等について)では、先輩ママの生の声など聞けてとても参考になっています。

ところで、私達小さい子どもを持つ母親にとつて子連れの映画鑑賞なんてもつてのはか!でも、そんな掟破りの映画館「感動倶楽部」が清水にできたのです。会員制ミニシアターで予約の電話一本でいつでも何人でも貸切りでビデオムービーを上映してくれる喫茶店です。(次郎長BARではそれまで託児しあひながら映画鑑賞は行なっていました)が、どうどうと子連れで映画が観られるわけ。

今まで子どもを預けるのは心配とか、子どもを預けてまで行く気がしないとか考えていた人達に第一歩を踏み出すチャンスを与えてくれたのです。私達の観たいものだけでなく、子ども向けアニメも、それぞれ観たい人のニーズにあわせて鑑賞できるのです。

最近観たのは「今を生きて」(ダイハードII)「レッドオクトーバーを追え」(ビートマン)。ここは家庭のテレビでは味わえない迫力と感動を私達にのみがえらせてくれるスペースです。子どもをかかえ映画をあきらめていた皆さん、一度清水の感動倶楽部を尋ねてみて下さい。

のキモチはよくわかるけど。でも、そうやって「理想と現実の違い」って分けて、それで「理想」の方を戸棚にしまっただけで、日本の政治屋はこーゆーヒトばっかりのは、待つてほしい。

「理想」って、「現実」と対立する、まったく相容れない別のものだったわけ？ そうじゃなくって、それを目標として努力すること、で「現実」を少しずつでも良い方向に修正していくためにあるんじゃないか？ 確かに、私たちはやがてこの星とともに滅びる運命にあるのかも知れない。そーでなかったとしても、誰だっていつれ死ぬことだけは間違いない。だからテキトーに流されて、「仕方ない」って諦めたり開き直ったりして生きて死んでいきたいヒトはそうすばいはいんだけど。

私は、そーやって誤魔化し誤魔化し生きてくより、現実を少しでも望ましい方向に変えようとするの方が好きだなあ。「まあゴリッパ」って言われてしまってもいいじゃないけど、そんなんじゃないかって、その方がずーっと自然で、ラクだと思う。

本当は諦めてるわけでも開き直ってるわけでもなくって、何とかしたいなーと思ってるんだけど、「どーせどーにもなりつこない」とか、「自分は紙オムツを使っているから環境問題を語る資格がない」なんて考えて無力感に支配されたニヒリストになっちゃってヒトなんて、私に言わせれば一番疲れたような気がする（なんかを誤魔化して生きているってシンドイもんね）。でも、そんな完璧主義者になること、ないんじゃないでしょーか。

考えてみると、なるべくゴミ作らない毒ま

「地球」を考える——に載った山高さんへ

誤解されてしまったようなので、ひとこと。むろん、私も紙オムツ派です。だから私は、「環境問題について考えてます」などは簡単に言えませんが、言ってることとやってることがチグハグになっちゃってるの、それに全く気付いていない「環境問題の戦士」を見ると目が点になっちゃうだけです。



かない。なんて、別に環境問題持ち出すまでもない、ただの良識。あるいは嫌の問題とか。私はいいかげんな人間だけに、そーゆーものに憧れて、こんなこと言ってるんだけど。どうでしょう。こーゆーキレイゴト、やはり汚れたニンゲン（？）は、言っただけじゃないことではしょーか。こーゆーのも、吐き気がします。こたえてね♡小山田さん。

P.S. ①私は地球も宇宙も自分の存在について、全部いっしょに考えるのが好きです。P.S. ②またまた幼稚で品がない新聞ヤング欄の文で失礼！ 本人が幼稚で品がないもんで…。

病めるときも健やかなときも その⑨

いすに座りほっとしていると、カウンセラーが「はいどうぞ」と言います。こう言われて話を始めます。「そーなんです」——「それで」——ごくたまに相づちを打ったりしながら話を聞いてくれます。

ひとしきり自分の気持ちを吐き出してしまった後の私は、何だか物足りないのです。これでいいんだろうか、何か無駄なことをしているような、じれったい気持ちでした。四回目のカウンセリングが終了した後、もうやめてしまおうかと思っただけです。カウンセリングに期待し過ぎていたのです。でもきつぱりやめてしまおうと元気がなくて、毎週続けていたのを二週間後に来ることになりました。やめようか、こんな気持ちどうしようかと迷いながら通った時期が、今にして思えばつらくて長い時期でした。でもこの時期は私が本当に心を開いてカウンセラーとの信頼関係を結ぶために、どうしても必要だったのだと思います。

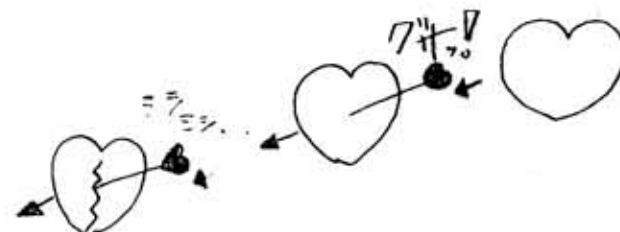
話し終った後、なんだか心がらがついた糸が一本に繋がったような感じを受けて満足できるような感じが長かった。この時期を乗り越えられずにカウンセリングをやめてしまおう人も多いそうなんです。

私が心を開いて自然な感じで話せるなと思いはじめた頃、会話の中に私の言ってるもの、たい言葉が出て来るようになり、ただ思いを吐き出すだけで満足していた時期、ひとしきり心の思いを出した後の物足りない時期を経て、やっとなんかという感じです。

## 〈コラム〉

## “地球”を考える その⑤

ハート



ところで、キモチの問題について： 木浪

この間TVで環境問題の特番を見て驚きました。余った電力を電力会社に売ることができるようになれば、太陽電池とか、風力、ダム無用の水力などのいわゆるクリーン・エネルギーによる発電と、コジェネレーション・システムの導入で、日本は必要電力の80%をまかなえるようになるというではないですか。

電力会社はいろんなことを言ってますが、国さえそういつた政策を積極的に推進する気になれば、やがてハイリスクな原発は当然廃

止できるし、地球の温暖化も抑えられるというわけ。うーんビックリ。日本のあちこちで様々な研究・開発がそんなに進んでいるなんて。で、そんな概算も出ているというのに、なんで政府は知らん顔をキメこんでいるの？ どーして日本ってこうなのかなあ。ヨーロッパとかアメリカとか、「ちょっと良さそうだな」と思うと、どんどんチャレンジャーしてみてるのに（現にクリーン・エネルギーを開発した日本の会社は、日本では売れないのでそのへんを市場にしている）。

でもここで「やってみようよ」と言うのと、「現実を知らない」とか言われてしまふのかしらん。「ちょっとよ」とか20%くらいなら節電できるんじゃない？ っていうことは、石油資源なくなっても大丈夫じゃない？ っていうこと言ったら「日本の経済をどー考えてるんじや、アホ」ってののしられるのがオチかなあ。

理想をキレイゴトだと言っただけで嫌悪するヒトって、多いもんね。大体、日本では理想主義的なニンゲン（これは環境も反戦も反原発も全部同じ）を「バカじゃねーか」という目で見るもんです。そーじゃなきゃ「現実を知らない」、「または「甘い（！）」とか「偽善者（？）」とか、「で、実際あんたに何ができるのか」などなど。環境問題について語るだけで、「キミだって環境破壊の一端を担ってるんだぞ。んなこと言う資格あんのか？」とか、「所詮人間なんて地球のガン細胞なんだから。仕方ないじゃん」と言われたり。

この手の話題を出してニヒリストにならない人の方が少ないくらいで、私にもそのへん

覚えていきますか チェルノブイリの原発事故を!? その48

同じくキモチの問題について 川崎

今年もまた、日本の電力消費量がピークになるという高校野球決勝戦の日が近付いています。だからもつと原発を……という電力会社のきまり文句が聞こえてくるよう。でももう電気ばかり頼る生活やめませんか。木浪さんが言うように「日本経済をどう考える」と怒られるかもしれないけれど、経済が破綻してみんながビンボーになれば恐くない？

埼玉県の丸木美術館では、原発相当分の電気料金不払いを理由に昨年からの送電を止められています。でも今は、丸木夫妻の反核・反原発運動を支持する人たちのカンパなどで取り付けた、ソーラーシステム（太陽）とコジェネレーション（ガス）との併用で、館の電気をまかなっているとのこと。

一般家庭で同じようにするのは難しいけれど、雨が降いたら室内が暗くなり晴れると明るくなるような、天気や自然を身近に感じる生活は大切だと思います。二十四時間明るいオフィスにいたりしたら、季節の変化なんて味わえせんものね。さしあたり、クーラーのない我が家では、十年前に買った風鈴をベランダに吊し、自力発電（うちわ）で季節を感じることにします。



## 情報コーナー

★平日あんふぁんて・イン・渋谷  
日時：9月12日(木) 11時～12時  
場所：東京都児童会館(渋谷駅徒歩7分)  
入口前の公園集合。弁当持参。雨天中止。  
※参加希望者は、9月10日(火)までに、事務局へ連絡してください。



★ビデオ上映会に來ませんか！

日時：9月25日(木) 午後1時～3時  
場所：中野区女性会館2階研修室  
(当日、午前11時から1階保育室で定例会・ミーティングを行ない、お弁当を食べてから2階へ移動します)

※兩岸戦争をきっかけに、親子でビデオを見ながら話し合おうということで始まったこの上映会。いままではバレスチナ関連のビデオを見てきましたが、今回は、核(原発)の恐ろしさを訴えたビデオ「ダーク・サークル」を見ることができました。興味のある方、ぜひ来て下さい。  
参加希望者は、9月20日(金)までに事務局へ連絡を。

## 事務局から

●今月は、八・九月合併号です。会員交流会の資料としても使うので、参加者は当日この号を持ってきて下さい。次は十月号です。  
●8月9日(金)～20日(火)は事務局夏休み。この間の事故の連絡等は手紙でお願いします。

●来期案アンケートの中に、「事務局や神楽坂ってどんな所？」というのがありました。事務局は、駅から遠いのが難点の古い一軒家(借家)。会員の一家と猫一匹が住んでいます。月1金の日中は私(川崎)が一人で電話番や会費の処理をしており、発送作業などで私が出かけると誰もいません。(連絡は留守番電話がうけることになりました)チャンスがあったら来て下さい。

神楽坂の幾代宅は、広い敷地に並んだ四軒家の一番奥です。二階が生活スペース、一階が幾代さんの仕事場を兼ねたフリースペース。こちらは駅から近いので便利。(グループプリストの裏に地図が載っています)。月一回、発送作業とおしゃべりに来て下さい。

## ヘスケジジュールメモ

8月24日(出) 会員交流会 (阿佐ヶ谷)  
9月12日(木) 平日あんふぁんて (渋谷)  
9月20日(金) 切手貼りとおしゃべり  
9月25日(木) (11時)事務局・弁当持参  
9月28日(出) ミーティングとビデオ上映会 (神楽坂)  
10月7日(月) 土曜あんふぁんて (神楽坂)  
10月号発送作業 (神楽坂)

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。  
☆入会希望の場合は、なるべく六カ月(三千元)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTEしもお忘れなく。  
☆事務局の電話受付は原則として月々金曜の1時から3時半ですので御協力を。  
☆会費の振り込みを忘れている方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。